

信州大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025 年 10 月 7 日

「術前化学療法(NAC)を施行した乳癌患者における大胸筋量の変化と予後との関連の解析」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6631
研究課題名	術前化学療法(NAC)を施行した乳癌患者における大胸筋量の変化と予後との関連の解析
所属(診療科等)	乳腺・内分泌外科
研究責任者(職名)	伊藤研一(教授)
研究実施期間	医学部長による許可日～2027年12月31日
研究の意義、目的	術前化学療法を施行した乳癌患者様の骨格筋量の変化と予後との関連を明らかにすることを目的とした研究で、今後の乳癌診療の改善に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2010 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の期間に当院で術前化学療法後に乳癌の手術を受けられた方
利用する診療記録／検体	研究対象者(参加者)背景、性別、年齢、体重、合併症、NAC で使用した薬剤、血清アルブミン値、好中球数、リンパ球数、骨格筋量、大胸筋量、無再発生存期間、全生存期間。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、骨格筋量の変化と予後との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	信州大学医学部外科学教室 乳腺内分泌外科学分野 (電話:0263-37-2657)

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報を利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。